

# 「日々の臨床」を支える視点

## —精神分析的サポータティブセラピー（POST）の実際—

心理療法の現場は、必ずしも理想的な構造が整っているわけではありません。限られた時間、不安定な動機づけ、切実な現実的問題……。そうした「現場のリアル」において、精神分析の知（発達論、力動性、転移・逆転移の理解など）をどのように活用し、それをどう活かしてクライアントの「こころ」を支えていくのか。本講演では、日々の臨床で輪郭をつけてきた「POST（精神分析的サポータティブセラピー）」について話し、その後の事例検討で、その実際について皆さんと共に考えてみたいと思います。（Psychoanalysis Originated Supportive Therapy : POST）

日時 2026年8月23日（日）13:00～16:00  
形式 講演と事例検討  
会場 日本福祉大学 名古屋キャンパス 北館 8階  
参加費 無料

### 講師

いわくら たく

## 岩倉 拓 先生

#### 【プロフィール】

臨床心理士 横浜国立大大学院教育学研究科修士課程修了

電話相談員、精神神経科クリニック、スクールカウンセラー、大学病院心理士、保健所・乳児院  
コンサルタント等を経て、2007年 あざみ野心理オフィス開設

あざみ野心理オフィス共同主宰 精神分析学会認定心理療法師

#### 【専門領域】

精神分析的な心理療法、分析的な理解に基づくアセスメント・マネジメント、ひきこもり支援・トラウマとPTSD、災害支援など

#### 【執筆】

- ・治療0期の耕しと治水 —乾吉佑編 心理臨床家の成長 金剛出版
- ・事例で学ぶアセスメントとマネジメント—こころを考える臨床実践— 岩崎学術出版
- ・臨床談義：松木邦裕とのQ&A 金剛出版 他

### 事例発表者

みやた かほ

## 宮田 華帆 氏

#### 【自己紹介】

私は2023年度修了生で、現在精神科・心療内科のクリニックで各種心理検査や心理面接を実施しています。心理面接を実施している方の多くは月2回30分や月1回30分の面接構造です。面接構造では、何を取り扱って、何を取り扱わないのか、意図を持ってクライアントと関わる必要があると頭の中では理解しています。ただ、取り扱うことでクライアントにどのような影響を及ぼすのか、どのような状態になるのか、経験としての知識がなく、頭の中の理解と面接の実際をつなげることが難しいと感じています。何を取り扱って何を取り扱わないのかを実際の面接の中でどのように考えてクライアントと関わっていくとよいか学びたいと思っています。



『精神分析的サポータティブセラピー POST 入門』



『臨床談義：松木邦裕とのQ&A』

主催 日本福祉大学心理臨床研究センター  
共催 日本福祉大学大学院社会福祉学研究科心理臨床専攻

## 参加対象

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科心理臨床専攻の修了生・大学院生・シニア研修員  
日本福祉大学の教職員

## 講演形式

名古屋キャンパス北館 8 階において対面で開催します。

## お申し込み方法

メールでご案内したサイトの「申込フォーム（Google フォーム）」からお申し込みください。  
定員になり次第締め切らせていただきます。

**【参加申込期限】 2026 年 8 月 8 日（土）まで（定員 80 名 先着順）**

※個人情報、心理臨床センター主催の企画の運営管理および各種講座のご案内に利用させていただくことがあります。それ以外の目的には一切利用いたしません。  
※天候不良等で当日開催できなくなった場合は、ホームページにてお知らせいたします。

## お問い合わせ先

本企画に関するお問い合わせは、次のメールアドレスにお寄せください。

shinri-kouza@ml.n-fukushi.ac.jp

件名は「8 月 23 日の講演会」をお願いいたします。  
万一 1 週間経っても返信がない場合は再度ご連絡をお願いいたします。

## 会場

JR 中央線「鶴舞」駅から徒歩 2 分。  
地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅 2 番出口から徒歩 2 分。  
※車でお越しの際には、近隣の有料駐車場をご利用ください。（大学駐車場なし）

会場 日本福祉大学名古屋キャンパス北館 8 階  
愛知県名古屋市中区千代田 5-22-35

